

## 大建協初の合同企業説明会



### 事前登録で200人超す

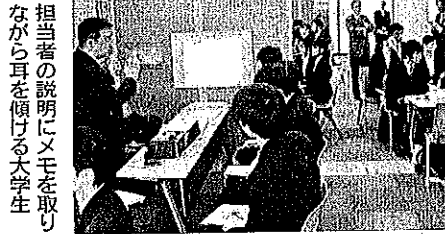
大阪建設業協会(葛田守弘会長)は12日、同協会としては初となる大学生向けの合同企業説明会を、大阪市北区のアクセス梅田フォーラムで開いた。写真。大阪労働局が後援。同協会の会員企業26社が出展した。

2016年春に4年生大学を卒業予定の学生を対象に、事前の登録だけで200人を超えるエントリーがあり、関西圏の大学だけでなく中国・四国や北陸地方の大学からも申し込みがあったという。

正午のスタートと同時に会場は多くの学生で埋まり、熱気に包まれた。同協会の担当者は「ことし(の就活)は学生の動きが鈍いと聞いていたが、予想以上の反応」と話した。

今回の説明会は、同協会の原真一副会長(コーナン建設社長)が担い手確保に向けた新たな取り組みとして発案した。

会場を訪れた原副会長は「就職のシステムが大きく変化しているなか、(説明会は)業界にとっても大きな一歩になると思う。来年度以降も続けていきたい」と述べた。



担当者の説明にメモを取りながら耳を傾ける大学生

## 大建協 大学生対象に合同企業説明会 26社がブリス設置

大阪建設業協会(葛田守弘会長)主催、厚生労働省大阪労働局後援による大学生を対象とした合同企業説明会が12日、大阪市内で開かれた。ものづくりで未来を夢見るを

テーマに、同協会の会員企業26社がブリスを設置。2016年度卒業予定の200人を超える大学生が訪れた。参加企業は、淺沼組、イチケン、岩出建設、榎

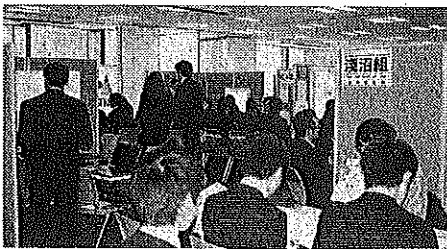
並工務店、大木建設、奥村組、銀治田工務店、金山工務店、栗本建設工業、コーナン建設、鴻池組、三和建設、錢高組、大豊建設、田中建設、中道組、南海辰村建設、西田工業、

野村建設工業、長谷工コーポレーション、藤井建設、藤木工務店、前田組、村本建設、森組、森本組の26社。

同協会担当者は、一人材確保が重要課題となる中、建設業界に入職を希望する学生と建設会社がいち早く出会う場を設けた。会員企業への入職促進や就職活動の一助に「してほしい」と話す。

説明会に訪れた女子学生は、「実家が建設業なのですが、一度自分自身でしっかり話を聞きたかった」と思い思いにブリスを巡っていた。

## 3月16日(月) 建設工業



### 大建協が合同企業 説明会を初開催

会員企業26社、  
大学生70人参加

大阪建設業協会は12日、会員企業26社が参加し、大学生に企業PRを行う合同企業説明会を初めて開いた。写真。約200人の学生が会場となった大阪市北区のアクセス梅田フォーラムを訪れ、各企業のブースを巡った。

「ものづくりで未来を変える」をテーマに開いた説明会は、建設業界に入職を希望する学生と会員企業との出会いの場を効果的に確保するため企画。200校以上の大学へ説明会の開催を事前告知し、学生の参加を促した。

学生が来場すると、開会時間の前半に「訪問」する企業3社を記入したシートを提出し、企業ブースを回る。その後、4社以上訪問できるようにした。

参加各社の担当者は、映像などを使用しながら自社の事業内容や得意分野などを説明していた。参加企業は次の通り。

▽浅沼組▽イチケン▽岩出建設▽榎並工務店▽大木建設▽奥村組▽鍛冶田工務店▽金山工務店▽栗本建設工業▽コーナン建設▽鴻池組▽三和建設▽銭高組▽大豊建設▽田中建設▽中道組▽南海辰村建設▽西田工業▽野村建設工業▽長谷工グループ▽藤井建設▽藤木工務店▽前田組▽村本建設▽森組▽森本組。

大建協

# 初の試み「合同企業説明会」

## 大学生対象に26社が参加

大阪建設協会(菅田守弘会長)では、建設業界を志す大学生を対象とした「合同企業説明会」を12日、大阪市北区のアサヒホール(大阪商工会館ビル)で開催した。大阪労働局の後援。来春卒業予定の大学生を対象に、協会会員企業との出会いの場として同協会が主催したもので、説明会には会員企業26社が出展したが、原副会長が会場を訪れ、出展各社の取り組みを視察した。

人材不足が懸念課題 員企業と建設業界への人  
 となっている建設業界だ 職を希望する学生が出  
 が、経済環境の好転によ 会える場として今回合  
 り他産業を含めて人材確 同説明会を開催したもの  
 保に向けた競争が激化す ことで、大建協では初めて  
 る中、建築・土木系の学 試み。  
 生が他産業へ就職する状 況があり、新規卒業者の 確保は企業はもとより、  
 業界全体での課題とも なっている。これら状況  
 を鑑み、大建協では、会

余ホームページに専用サ  
 イトを開設して参加者を  
 募集した。当日は近畿の名  
 大学はもとより、中国・  
 四国からも合わせて約10  
 0人が参加した。  
 会場では、参加各企業  
 が出展ブースに自社の工  
 法・技術等を紹介するバ  
 ネルやポスターを掲示す  
 るとともに、ブースを訪  
 れた学生に対し、人事担  
 当者がカタログ等を  
 使いながら自社のPRに  
 努めていた。

原副会長は、技能工の  
 不足が目立っている  
 が、「正請企業において  
 も管理技術意欲は不足し  
 ており、人材確保は義務  
 のものとなっている」と  
 述べ、特に建築や土木系  
 学生の多くは、大手ブ  
 ロックパーや設計事務所  
 公務員を志向する傾向に  
 あり、建設業界への人職  
 意が減少傾向にあること  
 が懸念されている。

学生の就職活動はホッ  
 トによるものが主流とな  
 りつつあり、このため企  
 業側もホームページ窓口  
 を設けるなど対策を講じ  
 ているが、地元企業では  
 求人活動には限界があ  
 り、企業単独で説明会を  
 開くことは無理な状況に



企業のマスコットも動員して



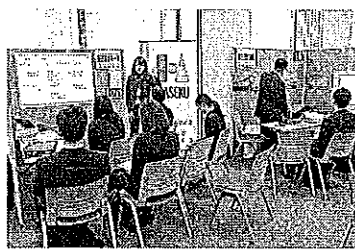
学生たちでにぎわった各社ブース

ある。  
 これら状況の中、原副  
 会長が委員長を務める経  
 営委員会から「会員各社  
 でもあった求人情報が  
 できないものか」との意  
 見が出てきたことから、  
 今回の開催となったもの  
 で、原副会長は「限ら  
 れた時間とはいえ、多数  
 の学生と一度に面談でき  
 ることは有意義なもの」  
 とする。  
 また、説明会開催に至  
 るまでの取り組みは「協  
 会のノウハウを巧みに生  
 きてくる」と評価した。  
 大建協では今回の後援を  
 踏まえ、出展企業の意見  
 も取り入れながら「今  
 後も継続していきたい」  
 との意向を示している。  
 参加企業は次の通り。  
 浅沼組▽三菱重工▽岩  
 出建設▽榎立工務店▽大  
 本建設▽興村組▽鍛冶田  
 工務店▽金山工務店▽東  
 本建設工業▽エコー建  
 設▽鴻池組▽三和建設▽  
 銭高組▽大豊建設▽中  
 建設▽中道組▽南港産村  
 建設▽西田工業▽野村建  
 設工業▽長谷工コーポ  
 レーション▽藤井建設▽  
 藤木工務店▽前田組▽村  
 本建設▽森組▽森本組

# 合同企業説明会開く

協建  
大 会員企業26社が学生対象に

大阪建設業協会は12日、大阪市北区のアクセス梅田フォーラムで16年度卒業予定の大学生を対象に会員企業による合同会社説明会(後援・大阪労働局)を開催した。



この説明会は、建設業の担い手確保を図ることを目的に企画されたもの。同協会では初めての開催で、会員企業26社が出席。全国233大学(400学科)に参加募集を行い、約200名の学生が参加した。併せてエントリシート対策講座も開かれた。会場では企業ごとにブースを設け、会社概要や建設業の仕事内容、施工実績などについて担当者が説明。学生らは説明に耳を傾けながら熱心にメモを取っていた。また「土木学科でも建築の仕事ができませんか」「資格取得の支援制度はありますか」と次々と質問を投げかけていた。ある文系の女子学生は「まちづくりに興味があり、建設関連の仕事に就きたい。建設業の経理の仕事内容についての説明は大変参考になった」と感想を語っていた。

また岡山から参加した学生は「設計事務所に就職を希望しているが、ゼネコンの設計部のことも知りたくて参加した。現場の話や上司との関係、社風などの話が聞けてよかった」と話していた。

3月18日(水) 建設産業